

はくぶつかんネット

第14号

～ GINOWAN MUSEUM ～

2003年

3・4月

奇数月の15日発行
(次号は5月15日)



▲ 昭和30年代の家の様子
懐かしい風景が広がっています。



▲ 一銭まちやー
子どもたちにとって魅力的でした。

発行：宜野湾市立博物館
〈TEL〉 098-870-9317
〈FAX〉 098-870-9316
〈ホームページ〉 <http://www.city.ginowan.okinawa.jp/home.nsf>



博物館イメージキャラクター
天女ちゃんと察度

★ 企画展のご案内 ★

なつかしの宜野湾

－ 宜野湾・沖縄の風景 －

開催期間：2003年 3月8日(土)～4月6日(日)

午前9時～午後5時まで 火曜日・3月21日(春分の日)は休み

宜野湾市立博物館では、今年度最後を飾る事業として、「なつかしの宜野湾 ～宜野湾・沖縄の風景～」と題し、企画展を開催しております。

太平洋戦争が終わって50年余がたち、沖縄もめざましい発展をとげてきました。その間の沖縄は27年の間、米軍の施政権下におかれ、日本復帰をとげた30年後の今日でも、まだ戦争の傷は後を絶たず、米軍人・基地と共存を続けています。

その中でも沖縄の人々は戦後の焼け跡の中から立ち上がり、たくましく暮らしてきました。現在では、情報化社会が進み、昔は想像も出来なかった時代が訪れています。

しかし人々の暮らしが豊かになり、便利になる一方で、昔の姿がしだいに失われてきています。

今回の企画展では、人々の生活と密着していながら実は意外と知られていない、また意識されていなかったものを展示し、紹介します。昭和30～40年代、電気製品が登場してきた時代の家の様子、今では懐かしくなった一銭まちやー、今は使わなくなった生活用品、昔見た町並み・風景を懐かしみ、「宜野湾・沖縄」を再認識し、また知らない世代の人たちには今回の展示を通して、「宜野湾・沖縄」をより理解してもらえれば幸いです。

わらば一体験じゅく

第3期わらば一体験じゅくの日程を修了しました



▲ わらば一体験じゅく
たのしかったね。

平成14年6月にスタートした、第3期わらば一体験じゅくも2月15日の「沖縄そばづくり」をもって、全日程を終了しました。

1年間を振り返ってみると、6月の開校式と博物館見学で第3期メンバーのみんなが初めて出会い、7月は一生懸命石うすをまわして豆腐をつくり、8月は昔の遊びでみんなくたくたになり、9月では宜野湾の文化財をめぐって少し物知りになり、10月には3日間かけて土器をつくり、11月は大山のターンム畑の自然を感じ、12月のターンムの収穫では日が暮れるまで頑張り、1月にはちょっと失敗してしまったけど、甘〜い黒砂糖をつくり、そして2月にはおいしかった沖縄そばをつくりました。また最後には閉校式も行い、佐喜眞館長から「わらば一体験じゅく修了証書」がメンバーひとりひとりに授与されました。

体験中は楽しかったこと、大変だったこと、失敗することもありましたが、各体験ともメンバーのみんなは、真剣に取り組む、様々なことを学び、そして良い思い出ができたことでしょう。最後にわらば一体験じゅくのメンバーが、この体験の思い出を生かし、今後活躍することを期待します。

平成14年度 第3回講演会

「泡盛の歴史と文化・古酒づくり」の報告

去った2月9日(日)の午後2時〜4時まで、第3回講演会「泡盛の歴史と文化・古酒づくり」を開催しました。講師に島袋正敏氏(名護市教育委員会・教育次長)を迎え、前半には泡盛の特性や歴史、今後の展開などのお話を、後半は古酒づくりについてのお話をいただきました。

講演会には市内外から60名近くの参加者が集まり、特に古酒づくりについては、質問が多く関心の高さが伺われました。島袋氏の「泡盛は世界遺産の価値がある。古酒文化を浸透させよう」という、ロマン溢れるお話を聞き、泡盛のすばらしさを再認識した1日となりました。



▲ 講演会の様子
熱心にメモを取っていました。

平成14年度 第4回講演会

「闘牛のはなし」の報告

第4回講演会「闘牛のはなし」を2月22日(土)に行いました。又吉利一氏(沖縄タイムス社通信員・闘牛担当記者)を講師に迎え、沖縄の闘牛の歴史や魅力、観戦の仕方のほか、現状を通して今後の闘牛への提案など興味深いお話を聞くことが出来ました。

会場には市内外から50名程の方々が集まり、質疑応答では飼育者と観客、審判員などそれぞれの立場からの考えを聞くことができ、今後の闘牛大会への期待の強さが感じられました。

宜野湾市には赤道に闘牛場があります。県内の13闘牛場のうちの1つです。ぜひ一度観戦をしてみたいかと思いますが。



▲ 講演会の様子
意見交換が活発でした。

常設展示室のご案内

◆ 宜野湾人の顔 ◆

展示期間：2003年2月19日～5月19日

常設展示『宜野湾人の顔』の展示替えをしました。

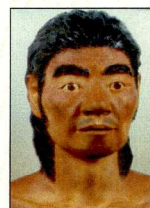
今回は野嵩1区の方々です。明治から昭和生まれの先輩方8名と、小学生7名の計15名の顔写真を展示してあります。この展示は5月19日(月)までの予定です。

『宜野湾人の顔』は現在市内に住んでいる方々の紹介となっておりますが、この展示があるエントランスコーナー全体を通してみると、人類の進化やその時代時代による人の顔の移り変わりについて知ることができます。

この『宜野湾人の顔』の展示は、開館当初から市内の各自治会の協力を得て、約3ヶ月ごとに展示替えを行っております。

次回は、19区の方々を紹介する予定です。

『宜野湾人の顔』の展示を見学する際には、常設展示室観覧料が必要となりますので、あらかじめご了承ください。



▲ 安座間原人

○ ご協力、ありがとうございました

平成14年度後半(昨年10月～今年3月)も、博物館事業に際して多くの方々に協力していただきました。ありがとうございました。(敬称省略・事業開催順)

●企画展「なつかしの宜野湾ー宜野湾・沖縄の風景」の協力者

新田賀信、翁長良明、伊礼吉信(諸見民芸館)、真喜志康徳、仲里康秀、富名腰務、大城健栄

●わらばー体験じゅく

伊佐寛雄、宮城徳康、喜屋武菊、比嘉文子、島崎真由美、高原建二、島袋寿雄(島仲建設)、米須清一、米須清行

●講演会

新垣義夫、津嘉山寛喜、具志一正、佐久真清、島袋正敏、又吉利一



○ 申請する場合は、手続が必要です。

博物館では入館料の免除申請、資料の貸出申請を行うことができます。申請書の手続はそれぞれ、「入館料免除申請書」「資料館外貸出許可申請書」に記入のうえ、入館・貸出を希望する日の1週間前までに申請して下さい。

■入館料の免除申請に該当する団体

- ①教育課程に基づく学習活動として入館する学生、生徒、児童及びこれらの引率者。
- ②宜野湾市教育委員会、博物館が開催する博物館資料に関する講演会、講習会、研修会等に参加して入館する者。
- ③その他館長が免除することが適当であると認めた者。

■主な貸出資料

- 収蔵品 ○ビデオ ○写真

平成14年度の事業あんない

月	日	曜日	内 容	期 間
3	8	土	企画展「なつかしの宜野湾 - 宜野湾・沖縄の風景」	4月6日まで

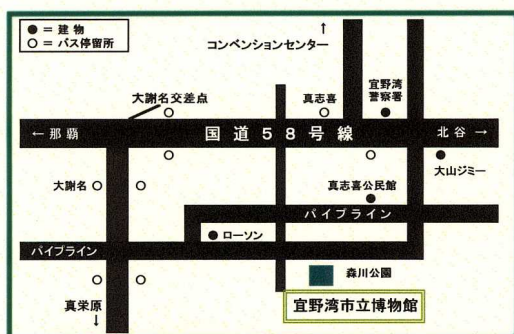
★平成15年度（2003年4月～2004年3月）事業予定

- わらばー体験じゅく：5月募集〆切→6月～翌年2月まで（小学5・6年生対象/毎月第3土曜日・午後）
- 講演会：第1回（5月）、第2回（10月）、第3回（2月）
- 企画展「宜野湾市の娯楽（仮称）」：8月もしくは2月
- 市内小中学校文化財図画作品展：9月
- 第4回新収蔵品展：11月
- △臨時休館日（くん蒸）：5月

※ 日時や内容は未定のものもありますので、変更に関してはご了承ください。

◎ 詳しい日程や内容については、事業開催1ヶ月前にチラシや市報、新聞・雑誌の情報欄、はくぶつかんネットなどに掲載いたします。

◆宜野湾市立博物館の案内◆



△ 大型バスの駐車スペース有り

〒901-2224
沖縄県 宜野湾市 真志喜 1-25-1

TEL : 098 - 870 - 9317
FAX : 098 - 870 - 9316
ホームページ : <http://www.city.ginowan.okinawa.jp/home.nsf>

◎ 開館日・時間

平日、土、日曜日の
午前9時～午後5時

※ 入館は午後4時30分まで



◎ 休館日

火曜日、祝祭日、慰霊の日（6月23日）、
年末年始（12月29日～1月3日）

※ その他、くん蒸による臨時休館日あり

※ 火曜日が祝日にあたる場合は翌水曜日は休館日となります。

◎ 常設展示室 観覧料

	大人	高校・大学生	小・中学生
個人	200円	100円	50円
団体	150円	50円	30円

※ 団体は20名以上から

★ 博物館のホームページを開いてみよう！

博物館では、ホームページを開設しています。主な内容は博物館案内、行事の最新情報、はくぶつかんネットのバックナンバー、わらばー体験じゅくの情報などがあります。ホームページ上では、第1号から最新号まで、はくぶつかんネットをカラーで見ることができますよ。

いろいろな情報を得ることができると思いますので、まずは開いてみてくださいね。

◎ ホームページアドレス → <http://www.city.ginowan.okinawa.jp/home.nsf>